

九

丙
文
六月九日
一三二六

立案 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁

宮内事務官

遞信技師内牧哲雄紋位取消件

(七月廿日官報各号にて取消報告(要テシ)

昭和十九年六月八日裁可 月 日達
臺帳記入 月 日官報報告済

宮内省

裏面白紙

89



遞信技師内牧哲雄敍位取消ノ件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年六月八日

内閣總理大臣東條英機

内

閣

人運位第三三七號

起案

昭和十七年五月二十六日

裁可
昭和十九年六月八日施行

決定
昭和十九年六月八日施行

昭和十九年六月八日

昭和十九年六月八日

昭和十九年六月八日

昭和十九年六月八日

昭和十九年六月八日

昭和十九年六月八日

内閣總理大臣

内閣書記官長

之

内閣書記官

之

之

之

之

遞信技師内牧哲雄叙位取消ノ
件今般運輸通信大臣ヨリ別紙ノ通
奏請之有今更不都合ニ候得共
事實已ムラ得サルモノト認メラルルニ
付取消上奏相成然ルヘシ

内閣

裏面白紙

遞信技師内牧哲雄ニ對シ昭和十八年十一月一日相當位正七位宣
下ノ處同人ハ既ニ昭和十八年二月一日海軍豫備大尉トシテ正七
位ニ敘セラレアルコト判明ニ付該叙位取消方被仰出度

恐
懼

謹
テ
奏
ス

昭和十九年五月 日

運輸通信大臣 五島 慶 太



運輸通信省

昭和十八年
十一月五日
可

秘恩第七七四號

昭和十九年五月二十五日

運輸通信大臣官房秘書課長



内閣官房人事課長 殿

叙位取消ノ件

遞信技師（現、通信院技師）内牧哲雄、高等官六等ニ陞叙ト共ニ昭和十八年十一月一日相當位正七位宣下ノ處同人ハ既ニ昭和十八年二月一日海軍豫備大尉トシテ正七位ニ叙セラレ居リタルコト判

鐵道省

明是ニ恣意ニ堪ヘサル次第ニ付テハ今後如斯誤ナキ様辦 係當務者ニ戒飭ヲ與ヘ置候ニ付本件今回限り寛大ナル御高配ニヨリ御取消方配意相煩度及御願候

現通信院技師内牧哲雄ハ當時海軍豫備中尉タル遞信技師高等官七等トシ
テ從七位ノ相當位ヲ有セシモノナル處十七年十一月十六日海軍豫備大尉
ニ進級シタル爲十八年二月一日海軍大臣上奏ニ依リ其ノ相當位タル正七
位ニ敘セラレタリ。然ルニ遞信省ニ於テハ右進級及敘位ニ關シ海軍省ヨ
リハ別段ノ連絡ニ接セザリシ爲其ノ履歷書ハ從前通り從七位海軍豫備中
尉ノ儘十八年九月三十日遞信技師高等官六等ニ陞等セリ。仍テ遞信省ニ
於テハ其ノ相當位タル正七位ニ進階ノ上奏手續ヲ爲スト共ニ十八年十月
七日官秘麻第七四九九號ヲ以テ之ヲ海軍省ニ通報シタル次第ナルモ此ノ
間行違アリテ本事故ノ發生ヲ見ルニ至リタルモノナリ。
以上ノ如ク本件ハ主トシテ海軍省及遞信省間ノ連絡ニ遺憾アリタルト本
人ヨリノ進級及敘位進階ノ届出ナカリシニ基因スルモノナリト雖モ尙其
ノ間慎重ヲ缺キタル點モ多クアリ洵ニ恐懼ニ堪ヘザル次第ナリ

寫

通秘庶第一一七七號

昭和十九年三月九日

通信院總裁官房秘書課長

海軍省人事局長殿

通信院所屬職員ニシテ海軍豫備員タル者ノ將校階級竝ニ位階調査ノ件

通信院技師ニシテ海軍豫備機關中尉タル内牧哲雄ニ對シ左記参照ノ上海軍將校トシテノ階級、位階ノ進級、年月日及ビ貴省當院間ノ連絡關係調査ノ上回報相煩度及依頼候

記

一、昭和十七年七月三十一日附官秘甲第二三四九號ヲ以テ當時遞信次官ヨリ海軍次官宛進級届書送付セルモ爾今何等ノ通知ニ不接當院保管ノ履歷書面ハ現在豫備中尉ノ儘ナル處昭和十八年九月三十日附遞信

裏面白紙

遞信省

技師トシテ高等官六等ニ陞叙ト共ニ正七位ヲ奏請シ十月七日附官秘
庶第七四九九號一海軍豫備員叙位奏請通知ノ件ヲ以テ遞信大臣官
房秘書課長ヨリ海軍省人事局長宛其ノ旨通知シ十一月一日附叙正七
位ノ發令アリタル處最近、將校階級、位階ニ進級アリタルヤノ疑相
生シ叙位ノ重複奏請ノ懼アルニ付其間ノ事情調査致度

裏面白紙

遞信省

寫

海豫秘人第四一號

昭和十九年四月十三日

通信院總裁官房秘書課長殿

海軍省人事局第二課長

海軍豫備員敘位ニ關スル件回答

去月九月通秘庶第一一七七號ヲ以テ人事局長宛來照ノ首題ノ件左記ノ
通ニ有之候

記

一内牧哲雄ニ對スル昭和十八年十月七日附官秘庶第七四九九號ハ當
方ニ於テ接受シアラズ本人ハ昭和十七年十一月十六日海軍豫備大
尉(昭和十八年七月一日海軍武官官階ノ改正ニ依リ海軍大尉トナル)
ニ進級同十八年二月一日正七位ニ敘セラレタル者ニシテ本件本人
宛通知シタルモ貴方ニ對シテハ通知セザリシモノニ有之

海軍省

裏面白紙

裏面白紙

秘恩第七七四號

一遞信技師内牧哲雄敍位取消ノ件
別紙上奏書及進達候也

昭和十九年五月 日

運輸通信大臣 五島 慶太



内閣總理大臣 東條 英機 殿

運輸通信省

